

テーマ② 『多職種との連携』 に関する取組み

関係機関との連携強化に向けた取組み

中央区在宅医療・介護連携相談支援室
(受託法人：中央区南医師会)

平成29年度（事業開始時）中央区における強みと弱み

強み：地域ケア研究集会など多職種連携研修会の歴史・区の在宅あんしんマップシステム（Webも）

弱み：行政（中央区）との連携が乏しい・病院の動向と介護施設の情報の把握が不十分

医療関係者

南医師会・東医師会

南東歯科医師会・東歯科医師会

南薬剤師会・東薬剤師会

訪問看護連絡会

地域ケア研究集会 年1/6回
メディカルカフェ等 年1/2回

介護関係者

ケアマネ連絡会

訪問介護連絡会

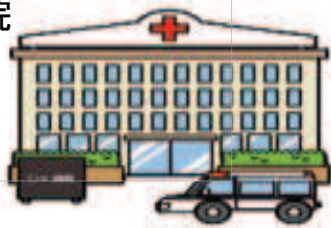
通所連絡会

地域包括

4
者
連
絡
会

中央区在宅あんしんマップ（HP及びMAP）

大手前病院
大阪医療センター
国際がんセンター
大阪歯科大学付属病院
日本橋病院
高津病院
原田病院
飯島病院



在宅医療・介護連携推進協議会

区民啓発の事業

保健福祉課

地域活動・高齢介護・運営

特養さくら（1）
おとしより健康センター（1）
有料老人ホーム（3）サ高住（1）
グループホーム（4）

大阪市中心部 地域ケア研究集会の歴史

H12年度(2000)

介護保険スタート

かかりつけ医と訪問看護の連携研修会

(南医師会・東医師会・訪問看護ステーション)

かかりつけ医と訪問看護とケアマネの連携研修会

(+ケアマネジャー・地域包括支援センター)

かかりつけ医と介護事業者の研修交流会

(+介護事業三者連絡会のち 四者連絡会)

+薬剤師会・歯科医師会

在宅医療と介護の連携スタート

年度	開催日		主な取り組み(講演・研修など)			ランチョンセミナー 手作りテーマ弁当
H23年度 (2011)	H24.2.4	第1回	「たん吸引と経管栄養など医療的ケアについて」 大阪府福祉部高齢介護室 居宅事業者課 角田龍哉	事例発表 5事例 医(南)1・ケアマネ1・訪看1 PT1・介護(デイ)1	*	*
H24年度 (2012)	H24.12.8	第2回	「超高齢社会における健やかな看取り」 ～その人らしい生きざま、死にざま～ 大島久明(南医師会顧問)	事例発表 6事例 医(東)1・ケアマネ1・訪看1 介 護(デイ)1・薬1・訪介1	グループワーク	減塩食をおいしく (為房・達)
H25年度 (2013)	H25.12.21	第3回	中央区で安心して住み続けられるために 「ここまで来た認知症の人のケア」 宮崎和加子(全国訪問看護事業協会訪問看護事業協会)	事例発表 8事例 医(南)1・ケアマネ1・訪看1 介護(デイ)1・薬(東)1 訪介1・地域包括2	グループワーク	糖尿病予防 (為房・達)
H26年度 (2014)	H26.12.6	第4回	中央区の地域包括ケアの未来をつむぐ 「地域包括ケアにおける病院の役割」 久山 純(大手前病院)	事例発表 6事例 医(南)1・歯(東)・訪看1・訪介1・ケアマネ1・栄養1 シンポジウム 歯科医・ST・栄養士・ケアマネ・介護家族		認知症予防 免疫力 (為房・達)
H 27年度 (2015)	H27.12.5	第5回	食えることは生きること～医食同源・職種を超えて 在宅医療におけるオーラルマネジメント 高橋一也(大阪歯科大学)	事例発表 6事例 医(南)1・歯(東)・訪看1・訪介1・ケアマネ1・栄養1 シンポジウム 歯科医・ST・栄養士・ケアマネ・介護家族		骨とカルシウム (為房・達)
H 28年度 (2016)	H28.12.5	第6回	意思決定を支える地域ケアチームづくり 人みな生きて死にゆく ～幸せな看取りとは～ 大島久明(大島内科医院)	ワールドカフェ:事例に学ぶ がんと認知症をもつ人の意思をどう支えたら良いか		脂質異常症予防 (達)
H 29年度 (2017)	H29.12.2	第7回	地域ぐるみで取り組むリハビリテーション ～リハビリに笑いを～ 石田 竜生(介護エンターテイナー・作業療法士)～	ワールドカフェ: どこまでやるのリハビリテーション		低栄養と リハビリテーション 栄養管理(為房・達)
H 30年度 (2018)	H30.12.1	第8回	災害に備えるネットワークづくり ～中央区では何が必要か～ 黒田和伸氏(KZ防災企画)	事例・研究発表 6事例 医(東)1・歯(東)1・薬(南)1 ケアマネ1・訪介1・訪看1	グループワーク 防災グッズ展示	災害と食事(為房・達) 災害とオーラル マネジメント(畠)
R.1年度 (2019)	R1.12.7	第9回	あなたは介護が必要になったら どこで誰と暮らしたいですか 「これからの棲家～在宅・施設・多様な住まいについて」 濱崎 勲(ライフマーク住まいサポート事業部)	リレートーク 特養H・老健・ GH・医介Co・認知症当事者	ワールドカフェ	食べられない その 原因と改善(為房・達)& 食欲と薬(江島)

大阪府在宅医療推進
コーディネーター事業

高齢者等在宅医療介護
連携相談支援室

<平成30年度～令和元年度>
**高齢者在宅医療・介護連携支援
関係機関情報交換会を年4回**

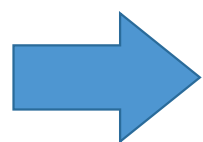
- ・保健福祉課長および保健師
(地域活動・高齢介護・運営)
- ・地域包括・オレンジチーム
- ・生活支援コーディネーター
- ・見守り相談室コーディネーター
- ・在宅医療介護連携コーディネーター

※必要時 在宅歯科ステーション
薬剤師等情報交換に必要な
専門職を招致



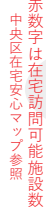
校区ごとの情報と課題が
共有され
具体化のアイデアが
湧き出て 楽しい

+地域診断ワーキング毎月



区役所保健福祉課
地域包括支援センターとの連携進む

愛日・集英・中大江・南大江
玉造・桃園・桃谷・東平
金歐・渥美・芦池・御津
大宝・道仁・高津・精華・河原



課題：①住民への啓発 ②各組織の横断的なつながり・病院と在宅の連携 ③24時間365日の在宅ケア推進構築

行政・地域包括との関係強化で協働事業が深化・充実

第9回中央区地域ケア研究集会 180名参加



管理栄養士・薬剤師の企画による
ランチセミナー
“低栄養改善” “薬と食欲”



- ・ 認知症当事者とサポーターもパネラーに
- ・ 『心原性脳塞栓症での入院からリハビリ・施設・在宅・就労復帰への可能性を地域サポーターとともにつないだ独居の事例』 相談支援室コーディネーター発表



【まとめ・課題】

- 地域ケア研究集会など連携実践の歴史から得られた、在宅医療（三師会・南東6団体・訪問看護）・介護事業者のネットワークを生かし、地域の社会資源把握とつながりを見える化、これをまとめリンクしたホームページも完成。
- 関係機関と『地域診断ワーキング』を行うことで、在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策検討を協働してすすめることができた。
- 課題は
 - 1、『地域診断』を生かし、区民向け啓発事業の協働
 - 2、病院同士と地域のネットワークづくりへの支援

課題達成に向けて

2 地域包括・オレンジチーム
と一緒に作戦会議



チームを作るのはだれか？核になるのは？
まずは、病院地域連携担当やケアマネ・
地域包括が在宅医にどうつながっているのか
など現状把握。安心の在宅医療に本当に繋が
っているのか等意見交換の場を企画

令和2年
3月7日(土)

15:30~17:30
アークホテル大阪心斎橋
大阪府大阪市中央区南船場1-10-10 TEL 06-6226-8132-5111

18:00~20:00
懇親会

Keyword
入退院支援・ACP(人生会議)・

病院とかがりつけ医の連携懇談会

考える
正しいつくり方を
メディカルカフェ

■大手前病院・大阪医療センター・大阪国際がんセンター
ほか地域連携担当より現状報告

在宅ケア・地域ケアチーム作りは誰が行う？

！上記病院のほか、原田病院・高津病院・日本橋病院・大阪
歯科大学附属病院・中央区で開業されているクリニックへ
ご案内しております。

！中央区における地域連携の社会資源の現状
地域包括支援センターの活動紹介など最新情報提供

！地域連携室やケアマネジャー・地域包括支援センターが地域にどう繋
がっているのか、入院時は地域からどう繋いでいるのか、現場の困りごと
事例も出し合い、病院と在宅療養との連携体制を考えます。

FAX 06 6252-0689 E-mail: ikairenkei@osaka-minami-med.or.jp

参加者氏名 ☑の職種・参加欄に○をつけて下さい。	職 種	連携懇談会	懇 親 会
所属 氏名	病院医師・開業医師(南・東) 病院職員(MSW/NS/ 地域包括(もも・北部)・オレンジ その他()	参 加 ・ 不参加	参 加 ・ 不参加
所属 氏名	病院医師・開業医師(南・東) 病院職員(MSW/NS/ 地域包括(もも・北部)・オレンジ その他()	参 加 ・ 不参加	参 加 ・ 不参加

懇親会参加費 5000円 当日徴収いたします

申込締切 令和2年2月27日(木)

■参加申込・お問い合わせ先：大阪市中央区在宅医療・介護連携相談支援室 ■協力：中央区地域包括センター 中央区北部地域包括センター

大阪市中央区島之内1丁目22-20 堺筋ビルディング2F
E-mail: ikairenkei@osaka-minami-med.or.jp
TEL 06 6252-0252 FAX 06 6252-0689